

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 10月 20日

事業所名 てらびあぼけつと西川口教室

保護者等数(児童数) 36名(30名) 回収数 20枚 割合 66%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	1		1	・人数に対して十分なスペースだと思います。 ・活動人数に対して十分なスペースだと思う。 ・限られたスペースの中で活動に支障が出ない様、人数や物の配置を工夫していただいている。	・引き続き、安全面に配慮しスペースの確保をしていきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	1		3	・配置数は十分だが、専門性については新しい先生も増えて、逐一確認はできていない。 ・その時々で先生が変わるので幅広い支援を受けられている。 ・個別療育のため、必ず一人は配置いただいております、場合によっては複数の職員で活動を見る様な配分もある。	・今後も配置数や専門性を高められるよう努めてまいります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16	1		3	・教材など子どもにも分かりやすく整理してあると思う。 ・部屋の用具に目印やマーク等があり、視覚的工夫あり。適宜、仕切り等も活用しながら特性に合わせての配慮あり。	・お子様が課題に集中して取り組めるよう、環境設定を行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	20				・玄関スペースがあまり無いので時々気まずいですが、適切に声かけして下さるので良い感じです。 ・いつもきれいで清潔なイメージです。こまめに清掃されている。用具等も散らからないようにすぐ片付け、整理整頓されている印象。	・玄関スペースが狭いため、フィードバック中はお子様に怪我のないように配慮していきます。 ・各クールごとの清掃、消毒も継続して行っています。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	20				・いつも話の中で新たに課題を見つけて、即対応してくれる。 ・要望を噛み砕いて支援計画書に反映していただいている。教室側から見た問題点も反映していただけると助かる。	・今後も丁寧に話を聞きながら、職員間での情報共有を綿密に行っていきます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	16	1		3	・適切にご対応いただいていると感じる。	・事業内での支援にこだわらず、家庭支援や地域支援などを積極的に行い、より包括的にお子様やご家族を支援出来るよう努めます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20				・その都度の支援を含めて対応してくれている。 ・おこなっていただいている。途中から変更、追加等も柔軟にご対応いただける印象。	・今後も支援計画に沿った内容で支援を行い、その都度、お子様やご家族のニーズを反映していきます。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14	3		3	・毎回先生が変わって、活動内容も少し違うので工夫されていると思う。 ・個人の思考に合わせて、子ども一人一人のできること(プログラムにない事)も取り入れてほしい。 ・子どもの習得具合により、繰り返し行われることもあるが、内容を考えながら特性に合わせていただいている。	・お子様の成長段階に合わせたプログラム設定を行い、充実した支援を図る。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	2	3	5	・園行事に参加できるように配慮してくださるので問題ないです。 ・事業所以外の子どもとの交流は聞いたことがない。 ・ないと思う。 ・経験がないので分からない。	・短時間の療育のため、必要に応じて検討していきます。
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19			1	・とても丁寧に説明してくれた。 ・当初ご説明いただいた。	・引き続き、丁寧に説明することを心がけていきます。

保護者への説明等	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	19			1	<ul style="list-style-type: none"> ・とても分かりやすく説明してくれた。 ・ご説明いただいている様に思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も計画更新の都度、お時間をいただき、直接説明させていただきます。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	9	3	1	8	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ始まってないと思うのでわからない。 ・「こういう声かけで動いた」等の成功体験は家庭で取り組んでいる。 ・必要に応じて出来ていると思う。 ・利用させていただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、教室にてペアレントトレーニングやホームセラピーをご提案しています。ご希望の方はお声がけ下さい。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	20				<ul style="list-style-type: none"> ・毎回その日の状況を伝えてくれるので共有できていると思う。 ・話しやすい、伝えやすい雰囲気やツール等もあり、子の状況に近い形で共通認識をいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、LINEやお電話、面談など様々な方法でお子様の様子を共通理解をしていきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・困り事があれば、しっかり話しを聞いてくださり助言を頂けるので助かっています。 ・困っていることに対してすぐ対応して、助言してくれる。 ・定期的、臨時的にもご対応いただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング以外にも、ご希望の際に、面談やお電話にてご相談をお受けしております。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8		5	7	<ul style="list-style-type: none"> ・父母会や保護者会はなくて良いです。・未参加なので分かりません。・ないと思う。 ・経験がないので分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会についてのアンケートをお配りしますので、集計後、職員間で検討していきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19			1	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも丁寧に対応してくださっている。・いつも即対応してくれて、すべての先生に周知徹底されている。 ・迅速にご対応いただいた。職員間で周知され、進め方にも柔軟性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保護者様やお子様からの相談を迅速に対応していきます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	1			<ul style="list-style-type: none"> ・いつも丁寧に対応してくれている。 ・面談、連絡帳、LINEなどで対応してくれています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様によっては視覚的なヒントやジェスチャーなどを交えて、伝えていきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	15	1		4	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月おたよりがあり、情報を得ることができる。 ・会報、HP等で確認できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も毎月のおたよりを配布し、情報発信していきます。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	18	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・できていると思う。 ・問題ない様に感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、個人情報の取り扱いについては気をつけていきます。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	17	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に訓練していると思う。 ・一部のマニュアルを見た事がないため分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時やお子様別に対応マニュアルを作成し、個人ファイルに綴っています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19			1	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に訓練していると思う。 ・会報で実施報告がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も災害別に避難訓練をしています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	16	4			<ul style="list-style-type: none"> ・最近たまに行き渋ることがありますが、・疲れて寝たい時はとても嫌がるが、プログラム自体は楽しみにしている。・毎回楽しそうに通っています。利用する日は朝から楽しみにしています。・日常の一貫として通所が身についており、先生やお友達と会えることを楽しみにしている。通所が嫌になったことは一度もない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも楽しく通っていただけるよう、職員一同、お待ちしております。
	23	事業所の支援に満足しているか	18			2	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園に行く日でもたびあに行きたがるくらい楽しみにしています。 ・本当にいつもありがとうございます。・いつも困っている事があれば分析して対応してくれるのでとても満足しています。 ・当面の困り事、就学を見据えての課題等に対し、先生方一丸となってお支援いただいております。細やかなご対応に常に感謝致します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも支援内容にご理解いただき、本当にありがとうございます。今後も保護者様やお子様のニーズを把握し、お子様がより成長できるよう職員一同、日々、努めて参ります。今後とも、よろしくお願い致します。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 10月 20日

事業所名 てらびあぼけっと西川口教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		お子様に応じて、個室と大部屋を使い分けています。	適宜、設備等を確認し、安全に配慮していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		適切な人員配置が来ています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		色分けやお子様それぞれに合った目印をつけて、わかりやすく環境設定を行っています。	玄関先が混雑するので、安全面に注意が必要です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		各クールごとに消毒、清掃を行っています。	より一層、心地よく過ごせる環境作りを行っています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日、振り返りをして、気づいた点などを掲示し情報共有しています。	今後も、運営や支援内容などを含め、業務改善を行うようにしていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートの結果をミーティングで共有し、業務改善につなげています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○	年に一回、実施しています。	毎月のおたよりなどでこまめに改善内容を公開していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		事業所内での研修や、外部の研修に参加し、支援の充実を図っています。	今後も定期的に研修に参加する機会を作り、資質の向上を図ります。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		セラピー終了後にご報告を行い、ご意向に沿っているか確認しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所内で作成した、アセスメントツールを使用しています。	アセスメントツールと保護者様のご意向を考え、その子に合った支援を考えていきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		カンファレンスで話し合った内容を元に、お子様の支援内容を設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画を元にセラピー内容を決めていきます。	支援計画の内容をミーティングで職員へ周知しています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		それぞれのお子様にあった内容を職員間で話し合い、適宜、行っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		固定化しないよう、教材やあそびなど調整しています。	今後も教材や活動などお子様に合った内容でプログラムのバリエーションを増やしていきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別療育で出来た内容を小集団の中でも般化出来るように適宜、機会を設けています。	今後も個別活動と小集団活動を組み合わせて、支援計画を作成していきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼で1日の流れやお子様の特記事項などを確認しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	○		終礼で支援の振り返りを行い、次の支援内容を調整しています。	終礼で気づいた点を共有し、運営していきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録は毎セラピーごとに取りつつ、より課題や目標が明確になるように、記録用紙の改善も行っています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		お子様の成長や、ご家族のニーズに合わせて面談を行いながら必要に応じて変更、改善を図っています。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管が参加し、内容を共有しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて、関係機関との連絡を行っている。また、サービスなどのパンフレットの設置、配布もしています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		お預かりがあれば、行ってきたい。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		お預かりがあれば、行ってきたい。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行支援ではないが、家庭連携として情報共有しています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		お子様の療育内容を担任の先生へメールやお電話で情報共有を行いました。	今後もご希望があれば、お子様の情報共有を行っていききたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		定期的にお子様の様子を情報共有しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		保育園、幼稚園と併用しているお子さんが多いため交流する機会は多い。また保育所訪問を通じて、職員間の交流も行っています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		川口市の協議会子ども部会に参加しています。	職員が全員参加出来るよう、機会を作っていききたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		セラピー後のフィードバックや連絡帳にて情報伝達を行っている。	今後も、情報共有をこまめに行い、お子様の状況を共通理解していきます。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		ホームセラピーや事業所内でペアレント・トレーニングを実施している。おたよりでもご希望を募りました。	契約時やおたよりでもお伝えしておりますが、全員へ周知出来るようお声がけしていきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時にご案内している。また同意が必要な書類などがある際には、その都度説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		初回時、計画更新時にその都度説明している。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		面談を定期的に行っているほか、フィードバック、連絡帳、LINE等、相談方法を広げて対応している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			感染症も落ち着いてきたため、保護者会の開催を検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		フィードバックや面談にて行いつつ、必要に応じてLINEや電話などを使う等、間口を広く設けるようにしている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		おたよりを定期的に行っている。	活動内容や保護者様に必要な情報を発信していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵付きのロッカーで書類を保管している。また不要な書類はシュレッダーにて裁断し廃棄している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		口頭言語だけではなくジェスチャーなどのボディランゲージやイラストなど、	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			今後検討していきます。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		定期的に訓練を実施しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難訓練を年二回実施し、内容をお便りでお伝えしている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		保護者様にお聞き取りし、確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		当教室内で、食事する機会は原則ないが、お聞き取りなどで情報収集している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		終礼時に、ヒヤリハットを確認し、記載しています。	小さいことでも、職員間で共有してゆけるように今後も継続する
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に研修を行っています。	今後も継続する。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		行動制限が予測されるお子様には、支援計画に記載し計画更新時に説明しています。また職員間で共有している。	